

# 会 議 録

## 1 会議名

平成28年度第1回中郷区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### （1）報告（公開）

勝馬投票券場外発売所立地関連地域振興基金廃止に関する意見書の回答について

### （2）その他（公開）

## 3 開催日時

平成28年4月20日（水）午後6時00分から午後7時10分まで

## 4 開催場所

はーとぴあ中郷 研修室

## 5 傍聴人の数

0人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：岡田雅範、岡田豊、坂田浪平、高橋達也、竹内昭彦、竹内朗、  
竹内靖彦、古海博康、山内敏夫、横山一政、陸川昇一

・財務部：池田浩部長、鍵田清秀用地管財課長

・事務局：山田弘中郷区総合事務所長、見波正美次長、

総務・地域振興グループ 丸山良彦班長、樋口和輝主事

〔 以下、総務・地域振興グループは総務G、市民生活・福祉グループは  
市民G、教育・文化グループは教育G、グループ長はG長と表記 〕

## 8 発言の内容（要旨）

### 【丸山班長】

・会議の開会を宣言

### 【岡田（豊）会長】

・挨拶

【山田所長】

・挨拶

(引き続き、総合事務所職員異動転入者、及び木田庁舎からの出席職員がそれぞれ自己紹介)

【丸山班長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の上の出席を確認、会議の成立を報告。

【岡田(豊)会長】

- ・会議録確認：「竹内昭彦」委員と「竹内朗」委員に依頼。

報告事項(1)の「勝馬投票券場外発売所立地関連地域振興基金廃止に関する意見書の回答について」当地域協議会が3月23日付けにて市長宛に再度提出した「勝馬投票券場外発売所立地関連地域振興基金廃止に関する意見書」に対して、市長より資料No.1のとおり回答があった。本日は、木田庁舎より池田財務部長と鍵田用地管財課長が来られているので回答書の内容について説明いただきたい。

【鍵田用地管財課長】

- ・資料No.1を基に、回答書の内容について説明

【岡田(豊)会長】

今ほど、回答書の内容について説明いただいた。我々は基金廃止について問題があるということで提起をしてきたが、今回の回答でも市の基本的な方針や対応は変わらないとのことである。ただし、基金条例に合った使い方で残額全てを使うまでの間、特定財源を廃止しないということになった。内容については、この場で意見交換をしてもすぐに結論はでないことから、本日は回答に対する質問など、どうしても聞かなくてはいけないことがあったら発言いただきたい。

【古海委員】

2点ほどお聞きしたい。説明では、平成30年度末という期限は設けず、基金残額を全額充当した時点で廃止するということであった。現在、交付金は1年間で約600万円となっており、このままでいけば20数年経つとこれまでの残額と合わせて2億円に達することになる。この2億円に合った事業を20年後位に実施したいと考えている場合、そこまで延ばすことは可能なのか。もう1点は、そのような立案を中郷区民が主体となって計画できるのか。

#### 【池田財務部長】

20年後まで市の計画が立てられているかということ、そのような状況ではない。また、平成30年度までに中郷区において全額充当するような大規模な事業も現時点では予定していない。しかしながら、平成31年度以降において中郷区の様々な施設の改修が行われることになると思われる。その中で、教育施設や福祉施設の関係など基金の目的に沿ったものがあれば充当していきたいと考えている。もう1点の事業の立案についてだが、基金の使用目的は条例で定められている。中郷村時代もこの目的に沿い、小学校の改修などに使われてきた歴史がある。基本的には、これまでそのような多額の経費を要するものに充てられてきたことを踏まえていきたいと考えている。いろいろな事業の立案については、制度も様々なものを用意している。ソフト事業においては地域活動支援事業などを活用の上展開していける余地がある。これ以外にも、全市的に地域が元気になるために、必要と思われる新たな制度があれば、提案いただきたいと考えている。

#### 【古海委員】

確かに中郷村時代において学校の建設費等に基金を使用してきたが、このようなことは本来行政側が当然行うべきことであって、基金の有無に関わらず市の一般財源から支出すべきことである。私が言いたいのはそのようなことではなく、行政が行わないようなことまで範囲を広げて基金を使えるのかどうかということである。例えば、介護保険の対象外である「地域の茶の間」は初期投資がかなり掛かるものだ。このように半民間・半公共的なところにも使うことができるのか。

#### 【池田財務部長】

今ほど話のあった「地域の茶の間」については、中郷区に限ったものではなく中山間地域を抱えるところの共通の課題である。このため、市として取組が必要であると判断した場合はしっかりと対応を考えていきたい。また、当基金は中郷村当時から教育や福祉など比較的大きな投資が必要となる事業に充てられてきたという経緯がある。元々このような支出を想定して蓄えられてきたものであると認識している。基金の在り方についての市の考え方を回答の前段に書かせていただいた。基金は全市的な共通の財産であるが、条例の目的が中郷区において比較的大きな投資に必要なものという理解の中で、今後財源が必要な事業に充てさせていただければと考えている。

### 【岡田(豊)会長】

基金には決められた使用目的があり、それを崩してまで行うことができないというのが市の立場であると思われる。このため、今後中郷区のためにどのように財源を使っていくのか、区民全体で一生懸命話し合っ決めていくことが大切である。次期地域協議会の中で十分検討のうえ、市と意見交換を行い進めていく必要がある。

### 【坂田委員】

現在は基金として積み立てているが、仮にお金を使い切って廃止された後、交付金はどのように使われていくのか。

### 【池田財務部長】

一般財源化になっても、当然のことながらオープスの周辺環境整備に要する費用が発生することが想定される。そのための財源として充てていくというのが基本になると現時点では考えている。ちなみに、オラレ上越の場合は売り上げの2%が事務協力費として入ってきており現在2,000万円ほどになっている。勿論、お金に色はついていないため、このお金は上越市共有の財産となっている。この施設もオープンするまでの間、警察から風紀や治安の関係などで相当厳しいチェックが入ったことがある。そのような意味ではオープス同様大変苦勞したという認識を持っている。先人の苦勞とその後の皆さんの努力により、健全な状態が保たれていると理解しているところである。

### 【竹内(靖)委員】

3点ほどお聞きしたい。市は2年、3年先のことはすでに想定しており、平成30年を目途にした事業計画が成されているのではないだろうか。自分の予想なのだが、これにお金を使って平成30年にきっちり終わりにしたいのではないかと思われる。2点目は住民への説明についてだが、意見書にも書いてあるとおり、我々よりも先ず中郷区民から納得してもらう必要がある。住民への説明について、今後どのように対応していくのか。3点目だが、時節柄、今盛んに市議員候補者の街宣車が「中郷区のために頑張ります。」と言って朝から夜まで区内を回っている。仮に条例変更が議会を通らなかった場合はどうなるのか。

### 【池田財務部長】

先ほども申した通り、平成30年度までは大きな計画は予定していない。平成31年度以降については、小学校の大規模改修をはじめ多額の経費を要するハード事業が中

郷区において発生することが想定される。その時はこのような説明をしていく必要があると考えているが、あくまでも現時点での計画であるため、使い道をはっきりと定めているわけではない。2 点目の住民への説明については、基本的に基金の使い道というのは市が定めるものであり、予算全体を市が提案し議会の議決を得ることになる。また、仮に条例を廃止することになれば、同様に議会の議決が必要となる。なお、市が使い道について、個々に住民へ説明するということは現実的に厳しい。このため、住民の代表である地域協議会と議論を交わしていくことが、我々が取るべき基本的な対応になると考えている。

#### 【岡田(豊)会長】

先ほど、古海委員より本来は学校の改修などは一般財源で行うべきであるとの発言があった。大規模改修は他でも行わなければならない施設がいろいろとあるが、中郷区は基金を使って先んじて行うという方向が大事なのであって、ぜひこの辺りを頭に入れて使っていただければと思っている。

#### 【高橋副会長】

回答書の 3 ページに記載されている事項については、ハード面において市はかなり譲歩した形で書かれていると感じている。一方、その前のページでは 10 年経ったからという簡単な説明の中で、ソフト面の考え方にしているが、果たしてそれでよいのだろうか。区民からは「10 年後の財政を見誤ったのではないか」という意見も聞かれている。この回答では、我々が苦渋の決断をしたことに対する云々というのが何もない。ただ、10 年経って公正・公平だから廃止するという考え方に対して、区民は感情論になっている部分があることから、このことについてはきちんと説明する必要があると思われる。

#### 【池田財務部長】

10 年経ったから公正・公平を打ち出すわけではない。逆に、合併して 10 年経って、全体を冷静になって見ることができるような環境になったという部分もある。市民から納めていただく税金などは地域に色はつけられないので、それぞれ市民のために使うことになる。2 ページの中段以降に記載した「行政サービスの源泉」というのはそのような意味である。10 年が経ち、改めて立ち止まって考えた時に、基金の在り方について本当はこのように考えているということをおっしゃっていただきたいということで、回答書に書かせていただいた。理解してもらうのは、なかなか難しいかもしれ

ないが、そのような想いで整理させていただいた。

**【古海委員】**

回答書の中で、全市的な財産と謳ってあるが、この点はどうしても譲れないところだと思っている。市がそのような考えをもっているようでは、中郷区のことを理解していないと言わざるを得ない。防衛省からの調整交付金が年間約 4,000 万円位入ってきているが、これは中郷区限定だという回答を何年か前にいただいている。オープスの件についても同様に扱うべきであり、このような回答をいただいてもなかなか理解できないところである。いずれにしても、「期限にこだわらず」という回答をいただいたことについては、上越市はすばらしい判断をしたと思っている。今まであったものを無くすことになると、反対意見は当然出てくるものだ。それをどのように解決するか、この文言を見て市の対応は相当譲ったという感じを受けた。反対意見が出たので、全部取り下げるということは元々期待していなかった。今回の回答により、市の立場も守ることができたし、我々の意見も 100%とはいかないが、ここまで歩み寄っていただけた。私は少し高めの評価をさせていただくが、全市的な共有財産ではないということを頭に入れて、今後協議を進めていただきたいと思っている。

**【池田財務部長】**

防衛省からの調整交付金については、使途が補助金により定められている。この交付金は、当該施設が存在する住民の不満や不安を軽減していくために使われるものである。地域特定の施設に対する補助のため、制度上一般財源化はあり得ないものである。

**【岡田(豊)会長】**

皆さん、他に何か質問、意見等はあるか。

ー全委員なしー

**【岡田(豊)会長】**

特になければ、報告事項（１）の「勝馬投票券場外発売所立地関連地域振興基金廃止に関する意見書の回答について」は、これで閉じることとする。

ー池田財務部長、鍵田用地管財課長退席ー

**【岡田(豊)会長】**

続いて「その他」に移るが、事務局何かあるか。

**【樋口主事】**

乗合タクシーの運行に係る問題点の有無及び懇話会の内容に対する市への反映状況について報告

**【見波次長】**

産業建設グループ集約に伴う問題の有無について報告

**【山田所長】**

ひばり荘の利用状況と改善状況について報告

**【岡田(豊)会長】**

今ほど報告のあった3件については、いずれも前々回の地域協議会において報告をお願いしていたものである。乗合タクシーについては、導入に至る経緯の中で市の持ち出しを少なくすることが目的であったと思われる。バスから乗合タクシーに変更となった結果、便数そのものに変動はないが、申し込みが無ければ運行しなくなったことから、市の持ち出しは大きく減っているはずである。便を決めた運行というのは、住民サービスの観点からすると便利なようであり、不便だと言え。今日も、この会場へ来るのに利用しようと思ったが、便がない。今後、もっと利便性の高い乗合タクシーの運行方法について十分検討していただきたい。また、ひばり荘の件については、送迎の件が最も住民から苦情が来ている。施設の大きさとかは、致し方のないことである。もし、今まで通り送迎が整体利用客だけにこだわるようなやり方をしているようであれば、当初の契約内容に違反していると思われるので、補助金の返還を求めるくらいの考え方で進めていただきたいと考えている。

**【岡田(豊)会長】**

委員の皆さんから、他に何かあるか。

ー全委員なしー

**【岡田(豊)会長】**

最後に、地域協議会委員としての4年間の感想を、各委員より一言ずつ述べていただきたい。

**【岡田(豊)会長】**

3期11年間、地域協議会委員を務めさせていただいた。最終的に、どれだけ地域の意見が市にくみ取られたのか、非常に疑問な部分がある。力が足りなかったという想いもあるが、いずれにしても地域の意見を市に上げていくというのが地域協議会の大

きな目的である。次に新しく委員になられる皆さんは、市の隠れみのだけにはならないように気を付け、地域のため頑張ってください。

#### 【高橋副会長】

2期8年間、地域協議会委員を務めさせていただいた。最初の1期目は、右も左も分からない状態で市にうまく利用されてきたような気がする。達成感が一つもなく終わったような感じだ。2期目の4年間については、副会長という立場で会長とも細かい部分で調整しながら、市に対して意見を申し上げることができた。しかしながら、こちらの考え方がうまく市に伝わっていないと思われる。机上で作ったものを、いろいろな区へ提案されている感じがあることから、行政が現場をよく見て行ってもらえるような状況になるよう後押ししていきたい。何らかの形で達成感のある地域協議会に持っていききたいという希望を持っている。

#### 【陸川委員】

3期11年間、地域協議会委員を務めさせていただいた。振り返ってみると、中でも地域活動支援事業の審査が難しかったと思っている。我々が決めた事業が有意義に行われることで、地域の活性化に結びついていると感じている。基金の件については、市が譲歩してくれたところもあり、少しは安心している。これからも、地域住民の声を聞き、委員としてしっかりと努めていきたい。

#### 【横山委員】

1期4年間、地域協議会委員を務めさせていただいた。自分の知らない事ばかりで勉強させられる面がたくさんあった。継続して委員をされる方については、中郷区の住民が有意義になるよう、これからも取り組んでいただきたい。

#### 【山内委員】

2期8年間、地域協議会委員を務めさせていただいた。老人クラブの会長がこれまでも委員になっていたことから、私も引き受けた。老人問題はなかなか難しいところがあるが、皆さんから協力していただかないと解決していけない。継続して委員をされる方に今後を託したい。

#### 【古海委員】

3期11年間、地域協議会委員を務めさせていただいた。私は、誰かに頼まれた訳でもなく一住民として3期とも自分の意志で応募した。各地域自治区に地域協議会を設置するという制度自体は、大変すばらしいことであると感じている。この制度は、全



国的に見ても珍しいそうだ。なぜ委員になったかという、合併前まで村議会議員を務めていたため、合併特例法の10年間は地域協議会に出席させていただき、市の制度がどのように変わっていくのか見届けたいという思いがあったためである。結果、合併の時の約束事がほとんどひっくり返ってしまっている。合併すれば財政は良くなるという説明もあった中で、なぜこんなに変わってしまうのか、これまで疑問を抱き続けてきた。地域協議会自体は良い制度だと思うが、余りにも力がないと感じている。市の諮問機関という特性もあるのだろうが、もう少し我々の意見が反映されてほしいと思っている。そのような意味では物足りなさがあった。達成感は余り感じられなかった11年間だった。継続して委員をされる方の活躍を期待したい。

#### 【岡田(雅)委員】

1期4年間、地域協議会委員を務めさせていただいた。外から行政を見ていると、結果しか見えてこないため、何でこのようになったのかという疑問ばかりが残ってしまう。自分の勉強不足もあるが、少しでも理解したいという思いで地域協議会に参加させていただいた。実際、参加してみたらなおさら分からなくなってきて混乱してしまっただが、このメンバーで中郷区のことを真剣に考え、話し合ってみて、この会は大変有意義な会であると実感した。次期も頑張っていきたい。

#### 【坂田委員】

1期4年間、地域協議会委員を務めさせていただいた。昨年から約1年、オープスの件で協議を進めてきたが、今回の市の回答は一つの落としどころだと思われる。しかしながら、これから先の交通整理が大変になると感じており、しっかりとした対応をしていかないと、中郷区の住民は納得しないのではないだろうか。今後の対応について、新メンバーの皆さんと一緒に考えていきたい。

#### 【竹内(昭)委員】

1期4年間、地域協議会委員を務めさせていただいた。自分の知らないことが多く、なかなか思うように意見が言えなかった。今後も、何とか少しでも協力していきたいと思っている。

#### 【竹内(朗)委員】

1期4年間、地域協議会委員を務めさせていただいた。中郷区の抱えている問題点について勉強したいという気持ちで、参加させていただいたが、問題が難しくてなかなか自分の意見を言うことができなかった。ただ、乗合タクシーやひばり荘の件など

についての問題点を把握できたことは委員になって良かったと思っている点である。  
また、オープスの件は中途半端な状態で終わってしまうような気がして残念な気がする。  
継続して委員をされる方の活躍を期待したい。

**【竹内(靖)委員】**

2期8年間、地域協議会委員を務めさせていただいた。いろいろと、この会で勉強  
させていただいたが、自分のやれる事とかやるべき事を頭の中で整理し、これからま  
た4年間頑張っていきたい。退任される方については、一区民となって今後も地域協  
議会を支えていただきたいと思っている。

**【岡田(豊)会長】**

それでは、これをもって、本日の会議を終了する。

委員の皆さん、4年間大変お疲れ様でした。

(終了 午後7時10分)

9 問合せ先

中郷区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 0 2 5 5 - 7 4 - 2 4 1 1

E-mail : nakago-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。